

令和8年5月25日

各報道機関文教担当記者 様

## 縄紋草創期土器に最古の「シソ属」の種実圧痕を発見

金沢大学古代文明・文化資源学研究所の佐々木由香准教授、中央大学の小林謙一教授、西本志保子客員研究者らの共同研究グループは、静岡県富士宮市の大鹿窪（おおしかくぼ）遺跡から出土した縄紋時代（※）草創期の土器から、日本列島最古のシソ属果実の圧痕を発見しました。

大鹿窪遺跡は、日本列島最古級の縄紋時代草創期の集落遺跡で、国の史跡に指定されています。約12,600～12,900年前の土器の表面に見られるくぼみをレプリカ法により採取して検討した結果、シソ属果実やダイズ属種子の圧痕であることが明らかになりました。特に、シソ属果実の圧痕は、これまで発見されていたシソ属の土器圧痕よりも約2,000～3,000年遡る日本列島最古の土器圧痕です。

この発見は、縄紋時代草創期という日本列島において定住的な生活が始まる旧石器から縄文的な生活への移行期に、有用植物であるシソ属やダイズ属種子が縄紋人の土器作りの場に存在し、土器の粘土に混ざったことを実証しました。これは、シソ属やダイズ属種子が縄紋時代草創期当時から利用されていた可能性を指摘できる大きな成果です。

本研究成果は、2026年5月24日に開催される日本考古学協会第92回総会において、ポスター発表されました。

### ※ 縄紋時代

一般には「縄文時代」と表記することが多いですが、本稿では学術的な表記に基づき、「縄紋時代」と表記しています。

### <本件に関するお問い合わせ先>

#### ■研究内容に関すること

金沢大学古代文明・文化資源学研究所 准教授

佐々木 由香（ささき ゆか）

TEL : 076-264-5583

E-mail : yuka\_sasaki@staff.kanazawa-u.ac.jp

#### ■広報に関すること

金沢大学人間社会系事務部総務課総務担当

樫田 恵里（かしだ えり）

TEL : 076-264-5450

E-mail : n-somu@adm.kanazawa-u.ac.jp

2026年5月25日

報道関係者各位

## 縄紋草創期土器に最古の「シソ属」の種実圧痕を発見

学校法人 中央大学  
富士宮市教育委員会  
金沢大学古代文明・文化資源学研究所

### 【概要】

中央大学の小林謙一（教授）、西本志保子（客員研究員）、佐藤駿輝（大学院後期博士課程）は、富士宮市大鹿窪遺跡出土土器の調査の過程において、縄紋草創期の種実圧痕を発見、金沢大学古代文明・文化資源学研究所の佐々木由香（准教授）、東京国立博物館の宮田将寛（主任専門職）と共同研究し、日本列島最古の「シソ属果実」の圧痕であることをつきとめ、日本考古学協会総会にて学会報告しました。

これまで、縄紋時代（一般には「縄文時代」と表記することが多いが、本稿では学術的に『縄紋時代』と表記する）の植物利用について、山梨県の中山誠二氏・熊本大学の小畑弘己氏等によって土器器面に残る種実等の圧痕研究が進められてきた結果、縄紋中期における大型化したダイズ属やアズキ亜属の種子が認められ、縄紋時代に栽培が行われていた可能性を明らかにしてきましたが、その初源はどこまで遡るのかといった課題がありました。

本研究では、最古のムラのひとつである縄紋草創期の大鹿窪遺跡においてすべての土器について圧痕調査を行いました。その結果、草創期の土器からダイズ属種子とシソ属果実の圧痕を発見しました。大鹿窪遺跡は静岡県富士宮市に所在する縄紋時代草創期から早期にかけての集落遺跡です。特に草創期後葉の押圧縄紋期（約 12,600～12,900 年前）における、現時点で草創期としては最多の 14 基以上の竪穴住居址が検出されており、土器・石器などの遺物も多数出土している国指定史跡です。

土器の表面からダイズ属種子の痕跡が見つかったことを契機に、悉皆的な土器圧痕調査を行うことになりました。総点数 414 点、総重量 4,979g の土器の外表面と内面、断面を観察して圧痕の有無を調べ、動植物の圧痕の可能性のある土器については簡易的な実体顕微鏡下で水と筆を使って泥を取り除いてからレプリカを作製しました。レプリカの作製方法は丑野・田川（1991）及び比佐・片多（2006）を参考にしてパラロイド B72 の 9%アセトン溶液を離型剤として圧痕内とその周りに塗布した後に、シリコン樹脂（JM シリコン インジェクションタイプ）を圧痕に充填しました。レプリカ作製後はアセトンを用いて離型剤を除去しました。同定は明治大学黒曜石研

# Press Release



究センター所蔵の実体顕微鏡を用いて行い、同定された3点のレプリカには FOS-R001~R003 の資料番号を付しました。結果、2点の押圧縄紋土器（12,600~12,900calBP）からダイズ属種子2点、シソ属果実1点が検出されました。レプリカは(株)パレオ・ラボが走査電子顕微鏡（(株)キーエンス製超深度マルチアングルレンズ VHX-D500）を用いて、撮影しました。

また、表出圧痕が検出された土器片について、東京国立博物館において、エクスロン社製微小部撮影用 X 線 CT 撮影装置を用いて土器内部を撮影した結果、肉眼では観察できない種実様の潜在圧痕が2点検出されました。見つかった潜在圧痕については FOS-X001~002 の番号を付しました。

今回の発見のうち、特に「シソ属果実」の圧痕については、これまでの事例でシソ属果実の圧痕として最古であった縄紋早期の千葉県取掛西貝塚の土器圧痕の約10,000年前の例を、約2,000~3,000年遡る「シソ属果実の圧痕」を発見し、縄紋草創期にシソ属が利用された可能性が遡ることが明らかになりました。これは、土器圧痕の成果としてみても、草創期の宮城県王子山遺跡のダイズ属種子の圧痕の発見に続く事例にあたる成果で、縄紋時代草創期という定住的な生活が始まるかどうかと言う、いわば旧石器から縄紋的な生活への移行期において、有用植物が利用されていた可能性を指摘できる大きな成果です。

今後は、縄紋草創期におけるさらなる事例の蓄積と、利用されていた種実の種類やその利用方法、さらにはなぜ土器の胎土の中にそうした種実遺体が混入されているのかを明らかにしていきます。

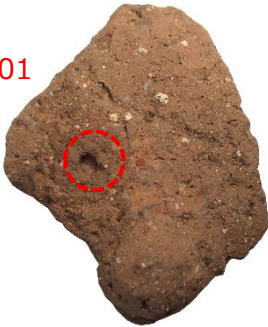
本研究成果は、2026年5月24日に日本考古学協会第92回総会において、ポスター発表されました。

本研究は、JSPS 科研費 JP26K16163、JP22H00019 及び JP25H00485 の成果の一部であり、富士宮市史のための資料調査が契機となったものです。

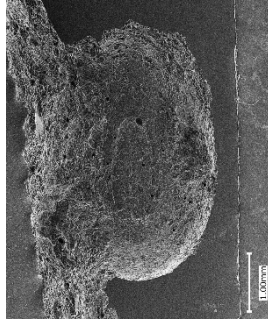
遺跡名	試料No.	図版	型式	部位	付着部位	重量(g)	分類群名	部位	種別	サイズ(mm)		
										長さ	幅	厚さ
大鹿窪	FOS-R001	225-1169	押圧縄文	底部	内面	31.92	ダイズ属	種子	表出	4.43	3.31	2.54
大鹿窪	FOS-R002	363-1718	押圧縄文 絡状体	胴部	内面	25.93	シソ属	果実	表出	2.46	2.26	1.95
大鹿窪	FOS-R003			胴部	断面		ダイズ属	種子	表出	(4.30)	3.45	3.10
大鹿窪	FOS-X001			胴部	断面				潜在	-	-	-
大鹿窪	FOS-X002	168-394	押圧縄文 絡状体	底部	断面	146.05			潜在	-	-	-

種実圧痕一覧表（括弧は残存値を示す）

R001



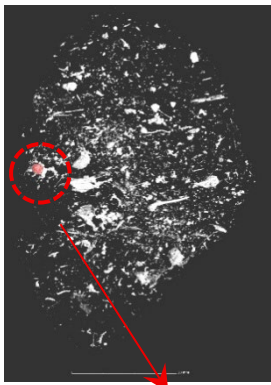
土器 225-1169



電顕写真 [表出] R001 ダイズ属種子

電顕写真 [表出] R002 シソ属果実

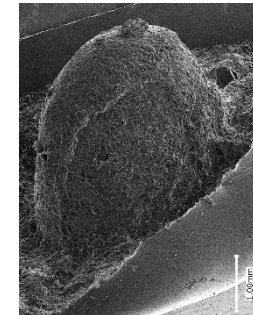
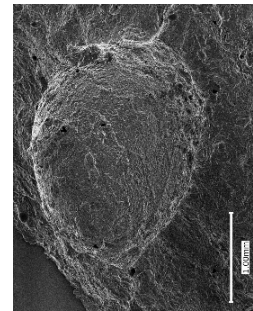
X001



X線 CT [潜在] X001



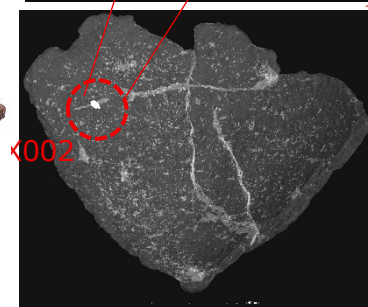
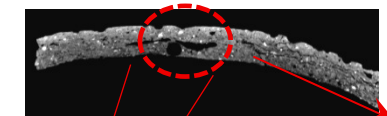
土器 363-1718 (表・裏)



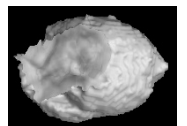
電顕写真 [表出] R003 ダイズ属種子



土器 168-394 (表・裏)



X線 CT [潜在] X002



# Press Release



## 【研究者】

中央大学

文学部 小林 謙一 教授

人文科学研究所 西本 志保子 客員研究員・文学部兼任講師

佐藤 駿輝 大学院後期博士課程

富士宮市教育委員会

原 悠翔

金沢大学古代文明・文化資源学研究所

佐々木 由香 准教授

東京国立博物館

学芸研究部保存科学課予測保存研究室 宮田 将寛 主任専門職

## 【発表論文】

学会名： 日本考古学協会第92回総会

題名： 静岡県大鹿窪遺跡の縄紋草創期の種実圧痕

著者名： 西本志保子・佐藤駿輝・佐々木由香・宮田将寛・小林謙一

DOI： 発表要旨のため、なし

## お問い合わせ先

---

### <研究に関すること>

小林 謙一 (コバヤシ ケンイチ)

中央大学文学部 教授

E-mail: kobayashikenichi22[アット]gmail.com

佐々木 由香 (ササキ ユカ)

金沢大学古代文明・文化資源学研究所 准教授

E-mail: yuka\_sasaki[アット]staff.kanazawa-u.ac.jp

### <広報に関すること>

中央大学 多摩研究支援課

TEL: 042-674-2109/2434

E-mail: kkouhou-grp[アット]g.chuo-u.ac.jp

富士宮市教育委員会 文化課 埋蔵文化財センター

TEL:0544-65-5151

E-mail : maibun\_center[アット]city.fujinomiya.lg.jp

# Press Release



金沢大学 人間社会系事務部総務課

TEL: 076-264-5450

E-mail: n-somu[アット]adm.kanazawa-u.ac.jp

※[アット]を「@」に変換して送信してください